

キーをたたきながら狂った音を正しくなる音を探り当てることが大切です。中心、基本になる音をみつけて、今度それを中心にすると他の音を正していくのだそうです。その基本の音、基本になる音というのは、Aの音、いわゆるラの音です。このラの音が全ての音階の基本なのだといいます。

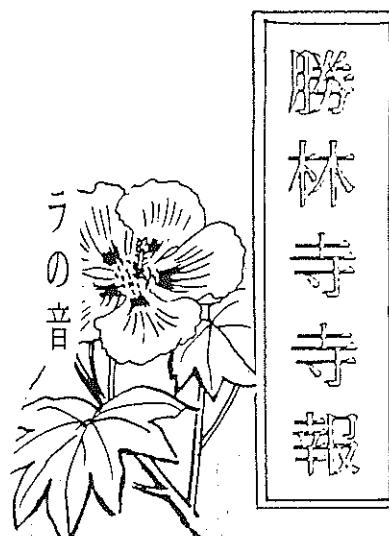
調律士は、全神経を集中して、まずこのラの音を探り当て、そのラを中心にして外の音をただしていくのです。

ラの音が、すべての音の基本になる音であるように、人のいのちの音もピアノと同じラの音だと申します。

すべての赤ちゃんのオギヤー・オギヤーと泣く声は、もともとラの音だというのです。どんな赤ちゃんも、もともとラの音でうまれて来たのですが、それぞれの環境の違いのなかで、育つにつれてそれぞれ、元のラの音からズレて歪んで、個々銘々独特的の音で泣くようになって行くのです。

これがまた成長して大人になるにつれて、たとえば損だとか得とか、勝ったとか負けたとか、もとのラの音から大きく狂い外れな

ピアノには時々調律ということが必要です



すが、お陰様、有り難うござりますを、忘
れない日々をと願つております。

一周忌

生田良子



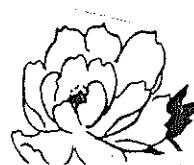
あじさい アガパンハス
次から次ぎと花ばなは、
年がかわった今も

わたしたちのあの坊守さまには
もう お出会いできません。

昨年の今頃も
飾られたベットの花のなかで　お話しもでき
たのに
花見るたびに　胸のふきがるおもいでござい

だれにでも どんなときにも
輝く笑顔で よくとおるお声で
あたたかく話しかけてくださいました

永代經



二法話 和田山 西方寺
藤井 雅峰 先生

お出会いさせていたたくそれだけで ほつと
こころ和ませていただいたわたしたちでござ
いました。

いまはただ 口惜しいおもいで胸いっぱいで
ございます。

あたたかかいお心遣い
やさしいおことば

あの坊守さまにお出会いできたご縁を
わたしたちは何よりの誇りとさせていただい
ております。

ほんとうにありがとうございました。

如来さまは

どんなに苦しいとき悲しいときも いつでも
どこでもいっしょだよと
お念佛となつて わたしのそばにいてください
る心づよさとやすらぎとを 生きさせていた
だく今。

ただただこのおみのりに出会えたよろこびに
感謝し、忙しく浅ましいひぐらしではありま
すが、お陰様、有り難うござりますを、忘
れない日々をと願つております。

七月のこよみ

一日	兵庫教区僧侶寺族研修会
二日	基幹運動本部會議
三日	岐阜教区事前研修
四日	高福寺永代經
五日	おみがき奉仕 福富修氏宅法事
六日	出石組・仏社連盟総会 云(勝林寺)
七日	仏婦但馬ブロック研修会(福成寺)
八日	福岡教区事前研修 同じ
九日	永代経 作品展示会
十日	勝林寺・仏婦総会 寺族婦人但馬ブロック研修会(津居山照満寺)
一一日	正福寺・永代経 同じ
一二日	西方寺・永代経 玉日会
一三四日	中央連研講師研修会 ビハーラ兵庫研修会
一四日	十六夜会
一五日	谷垣暎子氏宅初盆 出石組『連研』(西宗寺)
一六日	熊本教区連研研究会(熊本)
一七日	北豊教区連研研究会(小倉)
一八日	基幹運動第二専門部会
一九日	坊守釈曉月一周忌
二〇日	銀杏会(島根)
二一日	奈良教区僧侶寺族研修会
二二日	和歌山教区連研研究会

出石組
念佛奉仕団

参加して

谷垣暎子



第五回 兵庫教区出石組念佛奉仕團 (4号車)

平成4年6月9日

りました。今回の縁これから私の私にとってとてもよかったですと感謝致しております。引率くださいました斎藤さまご夫妻はじめ皆様、とてもやさしいかたがたばかり。あの二日間、わたしにとつて久々こころ平静に過ごせたように思います。

それにかねがね気になっていました大谷本廟への納骨式にもお連れいただきました。

両親と同じところ、ほとけさま親鸞さまと同じところにお骨を納めていただき、夫もきっと安堵してくれたこととおもつております。

ほんとうに有り難うございました。

ついでにはございますが、お墓のこと、その様式などいろいろ相談にのつていただきなく一度お伺いさせていただきたく存じております。

その節にはなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

仏事仏婦の役員の皆様にくれぐれもよろしくお伝くださいませ。

(奉仕団参加者)

おみがき奉仕



作品展示会

永代経・仏婦総会記念
七月八日・九日

書道・絵画作品
工芸・手芸作品
詩歌・俳諧色紙
写真など

(七月七日午前中に搬入ください)

昨年、坊守さま、この作品展をご覧になりました。それを最後にお亡くなりになりました。坊守さま追悼のところで、この作品展を成功させたいと思います。

（坊守会長より）

他人を憎むことはよりもなおさず自分を憎むことであることに気づくからです。自と他とを分別し対立させ差別しあうところに、この世の苦惱の根源があります。現代社会の病苦も多くここに原因があります。差別対立のなかで起きるストレス。

その現代の病弊からの解脱は、全体一如の真実の世界、如来の命に気づかせなければなりません。現代社会の病苦も多くここに原因があります。差別対立のなかで起きるストレス。

新緑の候でございます。
ご院家さまには益々ご健勝のこととごろよりお慶び申し上げます。
過日は、はからずも念佛奉仕團に参加させていただきましたこと、今まで夫にもたれきてうかうかと暮らしてまいりましたわたしには、ことのほかの勉強にな

出石組
念佛奉仕團
開會

二一日 夜七時より

永代経へむけて仏具のおみがき奉仕をいたします。多数ご参加ください。

出石組

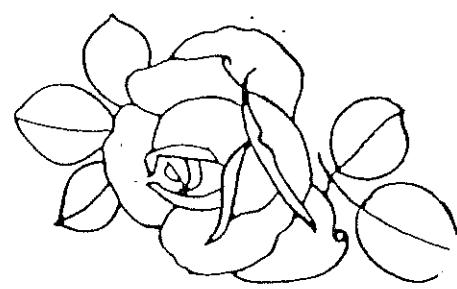


勝林寺 仏教婦人会 総会

七月九日

午前9時 受付
9/30 開会のことば
ご法話 住職 西池

「真宗宗歌」(献花献灯)
おつとめ
会長挨拶・住職祝辞
閉会のことば
会務会計報告
哲俊様



わたしは、佛教とは、ほんとうの自分に自覚めさせていただき、南無の生活に生きることだと思っております。

そしてそのことが人生を充実して生きること、苦惱の人生を強く生き抜くことなのだといただいております。

真実の命とは、全体が一つのもの。いかなる悪党であっても一木一草すべて仮性がある。

煩惱に覆われているその仮性をくみ取りくみ出すには、自力・他力・顯教・密教、八万四千のみちがある。道は多く分かれていますが、所詮お釈迦様のおしえ仮教です。全体一如、他人のいのちとわたしのいのちと一体ということであります。

この自己不二の真如に自覺めたとき、すべての価値観の転換が始まります。他人と対立したり憎んだりすることがなくなる。

他人を憎むことはよりもなおさず自分を憎むことであることに気づくからです。

ところに、この世の苦惱の根源があります。現代社会の病苦も多くここに原因があります。差別対立のなかで起きるストレス。

善立寺 加芝 実

